

第138回『運輸の日』（横浜地区連絡協議会）

第138回『運輸の日』を大和市：東神トラックステーションにて実施しました。

今日は、少し寒いくらいで、行動するには最適な温度でした。また、運輸労連本部より小松原広報部部長が取材に訪れともに行動を行いました。



今回の担当は、横浜地区連絡協議会のメンバー6人にて『60時間を超える時間外労働に対して50%以上の割り増しが必要になりますが、企業にて対応されていますか?』『有給休暇は取れていますか?』という設問にて独自の調査を行いました。

来年、令和5年4月1日より、月60時間を超える部分の時間外労働時間の割増率が、25%から50%に引き上げられ、罰則も付与されていますが、多くの企業では取り組みがされていない状況です。さらに、令和6年4月1日より、年間960時間の上限規制も始まることから、何らかの対応が求められるのではないかと?

全日本トラック協会もパンフレットを作り事業者やドライバーの方に周知されるように各施設に設置しています。

ドライバーひとり一人が企業に対して対応しているのか確認してほしい。



調査結果

①60時間超の割増率についての対応? ②有給休暇とれてますか?

①会社から聞いているが具体的なことはわからない ②取れている

①何の話はない ②条件付きで取得

①知らない ②取れている

①知らない ②会社の都合で取得

①ない ②使ったことがない

①全くない ②取れている

①そんなに働いていない ②取りづらい

①荷主次第ではないか? ②取れている

- ①全くない ②給料が減るので使いたくない（3分の1程度）
- ①全くない ②取れている
- ①長時間働らか無くても稼げればいい ②取れている
- ①60時間候えない様に会社が工夫している ②病気で休んだ時だけ
- ①細かいことはわからない ②取れている
- ①知らない。聞いていない。 ②年5日間は取れる
- ①知らない ②取りたくないけど、会社から取らされる
- ①知らない ②希望通りに取得
- ①知らない ②会社の都合で休まされる。
- ①知らない ②取れている
- ①聞いたことがない ②取れている
- ①中継輸送をしているので、残業がない ②有給は入ったばかりでない
- ①時間と給料が合わない。荷待ち時間が長時間労働になる。運輸に対しての世間や荷主の評価が低く、当日配送や翌日到着と過剰でる。運輸あがりの政治家がいらないから何も変わらない。
- ①60時間までの働き方をしていない。 ②しっかりとれている。
- ①日給、月給なので残業なし。 ②有給はない
- ①残業はつかない。60歳を超えて転職に踏み込めない ②入ったばかりで有給はわからない
- ①みなし残業+αがある。 ②5日前に言えば取得できる
- ①ありえない。会社が出さないのでは？ブラックだから。 ②希望通り取得
- ①歩合のために、労働時間は把握していない。 ②希望通り取得
- ①大手だけの話でしょう。定時が存在しない。深夜手当もつかない ②有給ある
- ①割増を要求し、仕事を減らされるのが怖い。 ②笑顔で取らせてくれる
- ①60時間超えるような仕事ではない。 ②文句言わずに取らせてくれる。
- ①積み込み時間はカードを抜いている。実際のインターバルは5時間程度。時間外は運行に含まれている。 ②有給は取れます。
- ①管理はされている様だが、距離での給料なので、時間の計算はしていない。 ②取得しやすい

以上

行動者からの感想

高橋 徹（ヤマト運輸労働組合横浜支部）

今日の組織拡大行動を通じて、やはり運輸業界と世の中の違いを改めて痛感しました。私たちも毎月のこの活動は行っていますが、なかなか、先に進むことが出来てないのか運輸業界あると、悔しい気持ちになりました。この悔しさを忘れることなく引き続き運輸労連組織拡大行動の大切さを忘れることなく、また、しっかりと現状を伝えられふところに声を届けて行き運輸業界の発展つなげていこうと強い気持ちになりました。

中井 敦史（楠原輸送労働組合）

今回で2回目の組織拡大行動に参加しました。

今回のテーマは2023年4月から60時間を超える残業代の50%についてどう思うか？と有給休暇の取得についてでした。

今回はとても空いていたので、入場車両にすぐに声をかけ、話を聞く中で、やはり多いのが、給与形態が、歩合や距離で決まっているので、残業事態特に把握していないし、そこを要求することによって仕事を減らされる方が困る。と言った、今も昔同様、走ってなんぼ！のような会社が多いなと感

じました。また、有給休暇に関しては比較的取りやすい環境ではあるとの答えが多かったと思います。

鈴木 善夫（ヤマト運輸労働組合横浜支部）

本日の組織拡大行動は令和5年4月以降、全ての事業主に対しても月60時間を超える時間外労働の割増賃金率が、50%以上に引き上げられることに対しての会社対応と有給休暇取得状況についての2点をアンケートしました。ほとんどがカーテンを閉めて休憩している状況でしたが19名の調査を行うことができました。その中で印象的なものは「好きで時間外労働を長くしている訳ではなく荷主によるものだ」と熱く語られたことです。今回、組織拡大行動に参加して運送業界に対して荷主の配慮義務をもっとフォーカスしても良いと自分も感じました。

佐藤井左夫（ヤマト運輸労働組合横浜支部）

横浜地区連絡協議会は組織拡大活動の運輸の日として10月19日に東神トラックステーションにてアンケートを実施しました。

今回は来年の4月から月60時間超の超勤時間の割増率が50%増となるにあたり、会社側からの告知や対応はどのようにしているかの聞き取りと、有給休暇の取得は促進されているかを確認させて頂きました。

東京－大阪間の長距離輸送から静岡に中継地を設置して一日で運行が完結することで超勤時間の抑制する企業もあれば、日給制やみなし残業など、未だに労働環境に格差があり、世間から見る運輸業界自体の立ち位置の低さに職場環境の改革に期待が持てない等の意見も散見されました。

有給に関しては企業として取り組む姿勢を見せているところも多く改革は少しずつではあるが進んでいるのを感じました。

次回にも働く仲間の意見集約をひとつでも多く拾い上げ地道ではありますが改善へと結びつかせて行きたいと思います。

阪本志津喜（日新労働組合）

10月19日東神T.Sでの組織拡大行動に参加しました。多くのドライバーさんにアンケートへ協力して頂きました。

かなりの運送会社では法律や制度とはかけ離れてる実態を聞くことが出来ました。

感想としては、理想と現実も大きくかけはなれてる事には残念であったが、厳しく是正を行なっていかなければ業界全体的に良くなるのではないかと思います。阪本

高橋 健（楠原輸送労働組合）

「60時間超え労働の割増賃金について、すでに対策をしてる会社もあるが知らないと答える運転手が大半でした。これについては特に会社が考えなければいけない部分なので運転手の中での理解はまだ低いのかなと感じました。

有給休暇について、半分以上の方は取れてると答えたが、残りの運転手は病気など条件付きで取得できたり、会社の都合で取らされたり、給料が下がるから有給を取りたくないと言う人がいた。

年5日の有給休暇取得が義務化されているのに中には一度も取ったことないと回答された運転手もいたことにびっくりしました。

そのほかにも荷主の方に労働時間の対策をして欲しいとの声もあった。

労働時間も給料面も合わせて改善しなければならない課題がまだまだあると感じました。」